

K.N. 社会システム学科・4 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

もともと韓国や韓国語に興味があり、独学で勉強していたので、いつか韓国留学に行きたいと考えていました。大学に入学してすぐ、在学中に留学できる協定留学について知り、説明会にも参加しました。語学留学ではなく韓国人の学生も受講する正規授業を履修することができるチャンスはなかなかないので、その点も魅力的に感じました。

② 留学を目指してから出願までの韓国語学習方法

TOPIK の試験を何度か受験し、留学に必要なスコアは持っていたので、点数を上げられるように勉強しました。私は作文が苦手だったので、作文がメインの参考書を購入して表現や単語を覚えました。自分が書いた文章や表現を、韓国人の友達に採点してもらったり、電話で話したりなどして楽しみながら勉強しました。他には通学時間や講義の合間に単語帳で単語を覚えました。分からない初めて見る表現はメモをして、その都度、使い方や意味を書き留めました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

入学許可証はすぐ発行されたのでビザ申請はすぐにできましたが、インタビューがあり、コロナの影響もあってビザの発給は、予定日よりかなり遅れました。そのため、航空券を変更するなど混乱があり大変でした。大学が協力してくださり助かりました。

韓国語の勉強は特にしませんでした。韓国人の友達と電話やメッセージをする程度でした。

④ 現地到着後

仁川国際空港に到着するとソウル女子大学が空港から隔離施設まで向かうタクシーを手配してくださっていたので、それに乗って隔離施設まで向かい、2 週間の隔離をしました。隔離期間中の食事の提供はなく、日本から持って行ったインスタント食品とデリバリーを利用しました。交換留学生オリエンテーションでは、外国人登録書類への記入・寮の手続き・履修登録の方法・サイトのログイン方法について説明を聞きました。日本人は私だけで、ほとんどがヨーロッパ系の留学生でした。

⑤ 語学研修期間

私は語学堂の授業を履修しませんが、週に 1 回だけある外国人学生のための韓国語の正規科目を履修しました。中級韓国語作文と高級韓国語会話の 2 つの科目を履修しました。中級韓国語作文では TOPIK の作文の問題を中心に問題を解きました。

高級韓国語会話では他の学生と話しをしたり、先生から表現を教わり、それを使い会話をすることがメインでした。どちらの授業もほとんどの学生がベトナム人で、互いにベトナム語で会話をするので、韓国語を話す機会が少なく残念でした。試験は、作文の授業は筆記で、会話の授業は筆記と会話でした。

K.N. 社会システム学科・4 年次

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学はとにかく自然が多くきれいなお花が咲いていて、猫がたくさんいました。講義室は同志社女子大学と似ています。食堂はバイキング形式で他にも飲食店やパン屋さん、書店、コンビニがありました。

◆ 履修科目

授業はゼミ科目に認定してもらえる科目を基準に決定しました。ソウルの歴史と文化以外はオンライン授業でした。

・ソウルの歴史と文化

実際にソウルのあちこちに行って説明を聴き、メモをしながら進みました。ソウルにある地名や建物の意味や由来、時代背景について学びました。

・日韓文化コミュニケーション

日韓の表現や文化、性格傾向の違いについて学びました。

実際にアンケート調査をし、スライドを使って発表をしました。グループ発表も行いました。テストは選択、記述式です。

・韓国経済史

韓国の経済について歴史を絡めながら学んでいきました。

演習問題や課題がありましたが、先生がしっかり採点してくださり、難しい内容でしたが、ついていけました。テストは論述、記述形式です。

・グローバル時代の個人と社会

先生が作成した資料を基に授業が進んでいきます。世界史がメインでしたが、韓国の視点から見た世界史です。必ず質問することが求められます。テストは選択問題です。

・世界を見る多様な視線たち

4 人の先生からあらゆる視点での話を聞きます。流行や韓国の歌の歌詞に隠された時代背景や思い、心理学などについてです。意見を積極的に発表しなければなりません。テストは選択問題です。

・社会的企業の理解と実態

今世界ではどのようなことが問題になっていて、どのようなことが求められているのか、企業での用語の理解と意味などについて学びました。テストは選択問題です。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブ活動はしませんでした。日本に留学したい韓国人学生に日本の大学について説明したり、質問に答えたりしました。

K.N. 社会システム学科・4 年次

⑧ 現地での住まい

1 学期はシャロムハウスという寮に 4 人部屋で生活しました。部屋はリビングと寝室に別れていて部屋にトイレがあり、部屋も綺麗で満足でしたが、コロナ対策により、寮の食堂が運営されず、寮内での自炊も禁止されていました。デリバリーも毎回お金がかなりかかるので、食事が大変不便でした。門限は 12 時です。大学内に寮があるので便利です。

⑨ 長期休暇の過ごし方

就職活動の面接のため日本に一時帰国した後、韓国に戻って韓国内で旅行に行きました。韓国で行ってみたいかったところに全て行き、友達が経営するカフェのお手伝いもしました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

もともと就職せずに、韓国で進学しようと考えていました。しかし、現在の韓国での授業はほとんどがオンラインであるため、コロナが落ち着くまでは仕事をしてお金を貯めようと思い、夏ごろから急遽、就職活動を始めました。他の人よりも遅く就職活動を始めたので企業研究は念入りに行いました。履歴書の提出も面接もオンラインだったので、韓国にいても特に不便は感じませんでしたが、最終面接のため一時帰国しました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

旅行ではなく、留学生として現地で生活ができたので、特別なことはしなくても毎日幸せでした。コロナの影響で、会えなかった韓国人の友達にも久しぶりに会うことができ、一緒に美味しいものを食べたり、韓国ならではの経験もできました。韓国語もかなり上達しました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

中間、期末考査の範囲が広く課題もたくさん出たので、テスト勉強が大変でした。特に中間テストは、韓国に来て初めての試験だったので勉強法を模索するのに苦労しました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

授業でお世話になった先生が、毎回授業前に他の学生と一緒にカフェに連れて行ってくださったり、寮に差し入れをして下さったりと、日本と違い先生との距離が近いと思いました。また韓国人の学生はみんな積極的に意見を出したり質問をしていて、勉強熱心だと感じました。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

親身になってくださる先生方が多く、授業だけでなく将来のことや、いろんな話を聞いてくださいました。キャンパスも綺麗で、芸能人がドラマの撮影によく来ていました。悪かったところは周りに何もなくて、買い物や食事が不便だったところです。

K.N. 社会システム学科・4 年次

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

オンラインテストの際にスマホとパソコンの両方必要な科目もあったので、パソコンは必須です。また、日本のお菓子や食べ物をあげると会話のきっかけになり、とても喜んでもらえるので、あるといいなと思います。寮での食事用に、インスタントで簡単に食べられるものや薬・サプリも持っていくと良いと思います。あと浄水器があるので、毎日タンブラーに水を入れていました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学前からの韓国人の友達からは、韓国に来る前よりも発音が韓国人に近くなり、韓国語力が伸びたと言われました。韓国人学生と共に授業を受けられるようになりました。TOPIK6 級にも合格することができました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

語学力の上達だけではなく、視野が広がるので将来の選択肢も増えると思います。現地に行っていなかったら出会えなかった大切な人たちもできました。大学生でこんな経験ができる機会はなかなかないので、何事も積極的になれば一生の宝物になると思います。頑張ってください。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

もともと韓国のカフェやコーヒーに興味があったのですが、韓国に行ってもっと興味が深まりました。日本で就職をしてお金が貯まったら韓国でカフェ経営について学び、自分で経営したいと思っています。

K.N. 社会システム学科・4 年次

V. 写真



京畿道（キョンギド）にある有名な洞窟に行った時の写真です。
自然がきれいで癒されました。



私の誕生日に大切な人がケーキでお祝いしてくれました。映画館に行って美味しいものを食べて、すごく楽しかったです。



夏休みに江陵（カンヌン）に行った時に、行列ができる黒ゴマラテのお店に行きました。
雨の中、1 時間並びましたが、コーヒーの概念が覆される美味しさでまた飲みに行きたいで
す。